

東郷湖・未来創造会議 社会資本整備チーム

◆検討結果

※「自転車道と歩行者道の周回コースの建設」「花と緑豊かな湖畔づくり」「その他」の柱で整理、集約する。

[□：アイデア、提言／■：指摘事項など]

【自転車道と歩行者道の周回コースの建設】

※道本体をどうしたらいいのか、周辺に必要なものは何か、管理の在り方、コースの紹介の仕方、コースを分ける方法、ウォーキング、サイクリングを楽しませる方法（設備、内容）などを整理。

※きれいなところ、整備をされたところはたくさんある。東郷湖、コンパクトで10kmというところをいかに観光客に伝えるか。また、地元に住んでいる人がもう一度見直すという必要がある。

※道路自体が本体の魅力をつくるということになるが、他の部分で、例えば便利だとか、楽しみだとか、そういうことで色づけしておいて、全体を売っていく必要がある。

<道路（本体）関係>

[道路整備]

- 自転車と歩行者で色分けをする（他の地域との差別化）
 - ◇ 自転車、歩行者（ノルディック）部分をカラー舗装
- 多様な路面（場所によって他の道と違う色分け）
- 地域のいわれのあるような模様を入れ込んだ道路整備
- 膝や足に負担のない、歩くのに適した素材を活用した道路整備
- サイクリングしやすいように段が少ない道路整備
- 一部湖の中に入るコースの設置（設備的な要素）
 - ◇ 湖面を歩く遊歩道
 - ◇ はわい温泉から藤津まで栈橋
 - ◇ 旧レークホテル付近に栈橋
- 台風により浸水した道路の嵩上げ（夢広場／門田／松崎／めぐみのゆ公園など）
- 道路の擁壁に天女の絵、花（野花一八尺）
- 藤津から宮内、松崎駅前付近に歩道設置（歩道未設置箇所）
- 湖畔に自然散策できる歩道の設置（出雲山下付近）
- コースの手入れができていることが必要（雑草がきれいに刈ってある）

〔街路灯設置〕

- 湖周に街路灯を設置
 - ◇夜間のウォーキングに対応
- 夜間照明（LED）を設置
 - ◇湖中源泉をライトアップ

＜設備関係（道路以外）＞

〔案内表示の充実〕

- 距離表示
 - ◇次の目印までの距離表示（〇〇まであと〇〇km）
 - ◇1km単位の距離表示（力量把握）
 - ◇走（歩）距離が分かる目印の表示（標柱／道路）
 - ◇観光施設を起点とした距離表示（中国庭園燕趙園など）
- コースの親切な案内、説明
 - ◇トイレ、足湯、自動販売機、駐車場など
 - ◇消費カロリーや高低差など健康視点
 - ◇地域の物語、歴史、史跡など
 - ◇出雲山展望台の夜景など自然景観
- 注意喚起
 - ◇自転車、自動車／それぞれの立場で
- 多言語化

〔受付などの拠点整備（ウォーキング／サイクリング）〕

- 既存施設（あやめ池スポーツセンター／ハワイ夢広場など）の機能活用
 - ◇ウォーキング／腕章の配布、コースガイドの配布など
 - ◇足湯（周辺の既存施設の活用）／タオルの貸し出し
- 案内所（ステーション）の設置
 - ◇湖周に4～5箇所のステーションを設置（既存の観光施設を活用）
 - ◇自転車の貸し出し（レンタサイクル）
 - ◇ノルディックポールの貸し出し
 - ◇万歩計の貸し出し
 - ◇傘の貸し出し
 - ◇トイレ、足湯常設
 - ◇それぞれのステーションに特徴を持たせることも選択肢
- 茶屋（給水ポイント）の設置、整備
 - ◇スポーツドリンク
 - ◇レンタルタオル

湖周エリアの整備

◇グラウンド・ゴルフ場

◇ドッグラン（ペット風呂）

- ウオーキング、サイクリングの協会員など本格的にされている場合は問題ないが、一般の方向けの対応が必要

[付帯設備の充実]

トイレの設置

◇出雲山など

給水ポイント

◇天然水など

宮戸弁天の親水公園的な整備

無料の露天風呂の設置

◇景観のいい場所（出雲山など）

- トイレ、足湯がかたよっている

<管理関係>

※良くないところは改善が必要

- 浸水箇所は盛土するなど、歩道として活用できるよう修繕が必要

- 冬季にも対応するのであれば、除雪体制の整備が必要

<コース関係>

[湖周のみに限定しないオプションコースを設定]

梨狩りができるコースを設定

伯耆一ノ宮まで行けるコースを設定

◇船ではわい温泉から伯耆一ノ宮までの半周コースを設定

おすすめコースの設定

[その他]

ウオーキング、サイクリングコースの細分化

◇アスファルトコース／自然道コース（湖に近い側を歩かせる仕組み）

- 一箇所でもシジミ獲りができる場所があればいい

<サービス関係>

完歩、完走記念になるメダルなど

湖周限定のオリジナルFM放送（ご当地ラジオ）

音声ガイダンスの貸し出し（歩きながら展示会を回ってもらう）

□周辺施設の i p o d での音声ガイド

【花と緑豊かな湖畔づくり】

<施設、設備関係>

□花の名前、花言葉などの説明板を設置

◇季節感の創出／ピンポイントの説明（炉端に咲いている一つひとつの花）ができる仕組みづくり

■年間通した看板は手入れをするつもりのない看板。その時期に咲いていない花の説明が年間通してあり、臨場感がない。

□親水公園／ビオトープ

◇動植物が繁殖しやすい環境づくり

◇観光客、地元の人に注目していただきやすい場所を設定

□花を觀賞するベンチを設置

□雨天時対策として一部アーケードを設置

□ツリーハウスの設置

□野外活動スポットとして釣り堀を整備

□桜並木の整備

◇藤津から宮内／古い木を新しい木に

□コンクリートの護岸は止めて柵を撤去

◇ヨシ原、砂浜の復活

<花／木の種類など>

[テーマ性]

□種類を変える／多くの種類を植える

◇湖岸側に春・夏・秋・冬のゾーン（名称を付ける）を決めて植える

◇花の種類でゾーンを決めて植える（桜／ショウブ／アジサイ／ツツジ／コスモスなど）

◇春・夏・秋で3箇所のフラワーロードを設置

◇冬季の花、木も忘れない

◇香りのエリアを創出（視覚だけではなく香りで演出）

◇花の種類をキーワード（桜、芝桜などの桜など）

例) めぐみのゆ公園の池側未利用地を芝桜エリア

◇果木を植える

例) アケビ／グミ／イチジク／ビワ／カキなど

食べ歩きができるなど演出

□一つのポイント（桜）を決める／それ以外は色々な花を植える

◇湖岸は桜、その間を他の種類で演出する

◇臨海公園に桜を植える

□花の種類

- ◇コスモスの花（畑）
- ◇梨の花（梨畑／秋に収穫）
- ◇花水木（ハナミズキ）〔花／紅葉／赤い実〕
- ◇蓮の花（宮戸弁天）
- ◇マイナー植物をメジャーに

【その他】

- めぐみのゆ公園の芝付近に木を植えて木陰をつくる
 - ◇親子連れで訪れるための環境整備（休憩場所の確保）
- ハワイにふさわしい木を植える
- 宮戸弁天付近に緑の木を植える

＜ソフト・サービス関係＞

※観光客に見ていただいたり、触れていただいたり、遊んでいただくためのきっかけづくり

- 植樹体験
- 季節ごとのテーマ足湯
 - ◇ゆず／ショウブ／バラ／キンモクセイなど
- 湖周に一株植樹
 - ◇住民参加型で意識の醸成
- 取ってきた花で作れる押花体験コーナー
- ガイド養成
 - ◇東郷湖グリーンマイスター（一緒に歩いて自然ガイドを行うスタッフ）
 - ◇住民のコースガイド
- 地域住民の参画
 - ◇地域住民による手入れ体制づくり
- 花マップの作成

【その他】

- ノルディック、ウォーキング大会の開催
- ウォーキングデータの蓄積
 - ◇歩数／距離／脈拍など健康上のデータ⇒健康診断チェックサービス
- ウォーキング後の温泉入浴サービス
 - ◇温泉旅館
 - ◇温泉施設（ゆアシス東郷龍鳳閣／ハワイゆ～たうん）
- 地元の体験ネタを披露
 - ◇さくら工芸品工房の有効活用

□伯耆一ノ宮の活用

◇「安産」をキーワードに「子育て王国鳥取（県の施策）」と関連づける

◇銅経筒など歴史資源の活用

□湖面の活用

◇ボート、カヌーなど

■町民が活用しきれしていない。

□カヌー、ウインドサーフィン、ボートフィッシングの基地整備

◇あやめ池公園

□水族館

◇東郷湖の魚や生き物などを身近に触れることができる環境づくり

□営業していない旅館の有効活用又は撤去

※東郷湖の周辺環境の整備をする上で、設備的なことよりもむしろソフト面、どういうテーマとか、どういうコンセプトとか、そういうことを打ち出していくことが大事。